

会 議 錄

会議の名称	第2回川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会
開催日時	令和7年8月27日(水) 15時00分 開会・16時20分 閉会
開催場所	川越市教育委員会 東庁舎2階 教育委員会室
会長氏名	会長 眞下英二
出席者氏名	別紙のとおり
傍聴人	なし
会議次第	<p>1 開会 2 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①第1回会議録について ②前回の質問について</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>①市民センター管内その他2地区について (霞ヶ関北、南古谷) ②本庁地区について</p> <p>3 その他 4 閉会</p>
配布資料	<p>【事前配付】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会 次第 ・第1回川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会 会議録 ・資料：本庁地区

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
眞下会長	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>それでは、ただ今から川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会令和7年度第2回会議を始めたいと思います。</p> <p>初めに、本日の会議の出席状況について事務局からお願ひします。</p>
事務局	<p>本日の出席状況ですが、宮岡委員、國分委員、小瀬委員は所用のため欠席の連絡をいただいております。</p> <p>本日の会議は、川越市立適正規模・適正配置審議会条例第6条第2項に基づき、委員の過半数が出席しておりますので、この会議が成立していることをご報告申し上げます。</p>
眞下会長	引き続き、資料確認について事務局からお願ひします。
事務局	【資料確認】
眞下会長	<p>それでは、皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>議事に入ります前に、本日の会議の公開についてお諮りいたします。本日の会議につきましては、公開としていきたいと思いますが、ご異議ありますでしょうか。</p>
委員一同	異議なし
眞下会長	<p>それでは、本日の会議は公開会議といたします。</p> <p>続いて、傍聴希望者はありますでしょうか。</p>
事務局	現時点では傍聴希望者はおりません。
眞下会長	<p>現時点で傍聴希望者はいないということですが、もし傍聴希望者が来場しましたら、順次、入場いただくことといたします。ご了承いただきたいと思います。</p>
眞下会長	それでは、議事に移ります。

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>議事の進行にご協力をお願いいたします。まずは、議事(1)報告事項の①第1回会議録についてです。事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>(説明 「(1)報告事項 ①第1回会議録」について)</p>
眞下会長	<p>会議録につきまして、何か確認しておきたいところがありましたら、お願いいたします。</p> <p>いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>(意見なし)</p>
眞下会長	<p>特にないようですので、報告事項の①につきましては以上といたします。</p> <p>続きまして、報告事項の②前回の質問についてです。</p> <p>事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>引き継ぎ、会議録をご用意いただければと思います。</p> <p>前回の会議にて出されたご質問の回答をいたします。会議録7ページをお開きください。</p> <p>下段の箇所ですが、小中学校を一体化した場合の設置基準についてご質問をいただきました。</p> <p>小学校と中学校の設置基準はそれぞれ定められておりますが、小中学校一体化した場合は小中それぞれの設置基準を合わせたものになります。スライドをご覧ください。</p> <p>校舎面積で申しますと、例えば180名の小学校と90名の中学校を一体化した場合には、小学生180名につき校舎面積は1,200m²が必要となり、中学生90名につき校舎面積は900m²が必要となりますので、合わせて2,100m²必要となります。</p> <p>続いて校庭の面積で申しますと、小学生180名につき校庭面積は2,400m²必要となり、中学生90名につき校庭面積は3,600m²必要となりますので、合わせて6,000m²必要となります。</p> <p>小中一体化するタイミングとしては、小中学校がともに小規模化が進み、このような条件を満たしていることが前提となってくると考えております。</p>

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>続いて、会議録11ページをお開きください。</p> <p>上段の箇所です。体育館やプールなど、校舎以外のそれぞれの施設に関して、耐用年数等を把握しているのかというご質問をいただきました。</p> <p>各学校の校舎以外の体育館、プール等の耐用年数もそれぞれ把握しております。</p> <p>これらのデータにつきましては、一体化を具体的に考える段階においてすべての施設の耐用年数等を考慮しながら検討する必要があると捉えており、その際に活用してまいりたいと考えております。</p> <p>以上が質問に対する回答となります。</p>
眞下会長	ご質問の回答につきまして、何か確認しておきたいことがありますましたらお願ひします。
藤崎委員	説明いただいたスライドを見ますと、小中学校が一体化した場合、施設も敷地も大きくなるという理解でよろしいですか。
事務局	基本的には小学校も中学校も小規模化が進み、それぞれの学校で教育活動を進める上で課題が想定された時に統合するという形で考えています。現状は大規模だった時よりも子どもたちがだいぶ少なくなってきております。少ない子どもたちに対して、広い敷地で教育活動を行っている現状にあります。
藤崎委員	そういうことですね。説明では、単純にプラスしているのでそのように見えてしまいました。
眞下会長	他にはいかがでしょうか。
委員一同	(意見なし)
眞下会長	それでは、ご質問等はないようですので、議事の(1)報告事項の②につきましては終了いたします。

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>それでは、続きまして、議事の(2)協議事項の①市民センター管内その他2地区についてに移ります。</p> <p>前回残した地区がありましたので、それになろうかと存じます。では、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(説明 「(2)協議事項 ①市民センター管内その他2地区 霞ヶ関北地区」について)</p>
眞下会長	<p>それでは、この霞ヶ関北地区につきまして、委員の皆様、何かご意見等ありますでしょうか。</p>
遠藤委員	<p>この資料を見させていただいて、霞ヶ関東小と霞ヶ関東中は隣接しているので、児童生徒数が減少した時には、こちらは1小1中という方法は考えられると思います。</p> <p>ただ、1校だけ離れている霞ヶ関北小はどうするかについては難しい問題だと思います。</p>
眞下会長	<p>ありがとうございます。霞ヶ関東小と霞ヶ関北小ということでしたが、仰るとおり、霞ヶ関北小が一つだけ離れてしまっています。</p> <p>こういう所については、私は前からお伝えしているとおり、川越で育ってきたわけではないので、なぜこのような形になっているのかわからないところがあります。道路の形状を見れば、多分ここがニュータウンだったのは何となくわかりますけれども、今後子どもが少なくなっていく中で、この霞ヶ関北小学校に通っている子どもたちの行き先をどうするのかは、なかなか難しい問題だと思います。是非とも色々なご意見頂戴できればと思いますが、いかがでしょうか。</p>
榎本委員	<p>あまり詳しくないですが、やはりこの伊勢原団地という新興住宅が広がってきた時に新しく建てられた小学校だという認識をしております。今お話しされたように、やはり霞ヶ関北小は、あまりにも霞ヶ関東小、霞ヶ関東中との距離があるので、1つにするのは無理があるかなという印象があります。</p>
眞下会長	<p>ありがとうございます。他にご意見等ありますか。</p>

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
粕谷委員	先ほど事務局の説明で1校減という話がありましたが、1校を減らすのであれば、どちらかということになると思います。あるいは、小中を一体化することで、1校減と考えているのでしょうか。
眞下会長	事務局から説明をお願いします。
事務局	小中一体化することによって、どちらかの施設は使わなくなりますので、1校減という考え方でよろしいかと存じます。
粕谷委員	そういうことであれば、霞ヶ関東小中であれば隣だから一体化すると1校減という目安をクリアするという言い方もあるということです。これは、前回、他の地区でも触れましたが、隣同士の位置関係ならばやりやすいが、正直に言って、距離の問題はあると思います。
眞下会長	ありがとうございます。
藤崎委員	この霞ヶ関北小と隣接する地区に川越西小、川越西中もありますよね。霞ヶ関北小から見れば、川越西中の方が近いですね。霞ヶ関北地区で見ると、いかにもここだけになってしまいますが、やはり川越西中、川越西小を含めるとまた考え方方が変わると思いますが、いかがでしょうか。
眞下会長	従来の霞ヶ関北地区という地区内だけで考えるのではないやり方もあるということですね。
藤崎委員	川越西中、川越西小も本来は近くにあるわけですから、地区を越えた検討も必要ではないかと思います。
眞下会長	ありがとうございます。他に何かご意見ありますでしょうか。距離の問題はこれから益々大事だと思います。私も、今日、川越駅に降り立って暑さを感じました。そんな中で、今は子どもたちが夏休みだから良いですが、9月までこの暑さが続く予報ですので、大丈夫かというのが本当に率直な感想としてあります。

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>この距離の問題というのはどうしても意識せざるを得ないところかなとは思います。</p> <p>仮に1校減するにしても、子どもたちの安全を担保できるような仕組みを考えていかなければいけないと思います。地区にこだわる必要はないのではないかというご意見は、非常に貴重なものだと思いました。ありがとうございます。</p> <p>他にご意見等が無いようでしたら、霞ヶ関北地区についてはよろしいでしょうか。</p>
委員一同	(意見なし)
眞下会長	では、続いて南古谷地区につきまして、事務局から説明をお願いします。
事務局	(説明 「(2)協議事項 ①市民センター管内その他2地区 南古谷地区」について)
眞下会長	南古谷地区についてご説明いただきましたが、先ほど事務局から説明がありました通り、この地区につきましては、現状、令和27年以降の最多就学者数、学級数では、必要校数は現状から減らす必要がない地区ということです。従いまして、この南古谷地区につきましては、現状の課題等あれば皆様のご意見を頂戴したいと思います。いかがでしょうか。
武藤委員	前回の会議で、高階地区の時に、校数の減が中学校にあつたと思います。牛子小は砂中にも子どもが進学します。こういう場合には、高階地区の中学校減の課題も含めて考えるのでしょうか。
眞下会長	事務局、いかがでしょうか。
事務局	高階地区の中で、どこの中学校が減になるかというところまでは具体的に決まっていないわけですが、砂中がもしその対象になった時には、当然、通学区域を再編するなどの影響も出てくるものと考えております。
眞下会長	その時に牛子小から砂中に進学する生徒数によって、明ら

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
遠藤委員	<p>かになってくることですかね。 他に何かご意見等ありますでしょうか。</p> <p>牛子小と南古谷小に勤務していたことがありますが、南古谷小に関しては、学区が広いというところが難しいと思います。地区の中の通学区域の変更等の色々な絡みが出てくるようでしたら、そこは検討する余地があるのかと思います。</p> <p>南古谷駅前に大きなマンションができた時、南古谷小学校で吸収できなかつたという話を聞いたことがあります。人口の増減がとても激しいと思いますので、先ほど他の地区も含めて検討という話もありましたが、今後、急激に人数が減った時には、他の地区も含めた検討も必要ではないかという印象を持っています。</p>
眞下会長	<p>ありがとうございます。確かに南古谷の方では北口の再開発の話も出ているということですので、人口の増減はまだ読み切れないところもあると思います。他に何かご意見等ありますか。</p>
委員一同	(意見なし)
眞下会長	<p>他にご意見ないようですので、市民センター管内その他2地区についての審議を終了いたします。</p> <p>最後に確認したいこと、あるいは新たなご意見でも結構ですので、この6地区全体を通して何かご意見等ありましたらお願いいたします。</p>
粕谷委員	<p>これまでの確認の意味で、意見を述べさせていただきます。例えば大東地区であれば、大東西小、大東西中は1小1中の関係という点で一体化しやすいのではないかと考えられます。同じように、少し距離が離れますけど、名細地区の上戸小と鯨井中は一小一中の関係のため、一体化しやすい関係性ではないかと思います。</p> <p>先ほど、一体化することでそれが1校減となるというお話をしたが、一方で、地区に学校を残すという観点も必要ではないかと思います。これは、防災との関係もあると思いますし、他の観点での利活用もあるかもしれません。例えば、地</p>

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>区に小学校が無い、中学校が無いという話は、歴史も伝統もある地域だと思いますので、住民の方にも色々な思いを持った方が多いと思います。その地区に一体化した学校という形を残していくという視点を持って議論しても良いのではないでしようか。</p>
眞下会長	<p>やはり歴史のある川越市ですから、それぞれの地域の歴史や誇りのようなものがあるだろうと考えます。そうであるならば、単に施設があるなしではなく、地区に1つは学校が残らなければいけないという観点も必要ではないかという考えは、重要な論点だと思いました。</p> <p>実際、文科省も地域全体で子どもを育てるという視点を持っているわけですから、そういった観点を持つことは必要だろなという風に感じた次第です。貴重なご意見ありがとうございます。</p>
山崎委員	<p>今の意見には同感です。全体を通じて、これまで地理的な観点からの議論が多かったと思います。しかしながら、学校には、防災という観点もあります。また、今、将来の話をしているわけですが、将来的には学校選択制ではないけれど、必ず学校は個性を出していく時代になってくると思います。</p> <p>文科省からも、カリキュラムを柔軟にしていくという話は出ている次第ですから、将来、学校は子どもたちが選択するということも十分にあります。東京の学校であっても通いたいなという時代がもうすぐそこまで来ています。</p> <p>前回の会議で、例外的に、通学区域の変更を認めているような例もあると伺いましたが、それは勉強になりました。その辺りのシステムの多様性といいますが、少し柔軟に考えることも含めた、地理的な部分以外で、積極的な子どもたちの選択、保護者の選択というものを見据えることが必要かなと考えます。</p>
眞下会長	<p>ありがとうございます。私の話をうまく綺麗にまとめていただきました。</p> <p>他に何かご意見等はありますでしょうか。</p>

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
委員一同	(意見なし)
眞下会長	<p>無いようでしたら、協議事項の①につきましては以上いたします。</p> <p>続きまして、議事の(2)協議事項の②本庁地区についてに移ります。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(説明 「(2)協議事項 ②本庁地区」について)
眞下会長	<p>それでは、本庁地区につきまして委員の皆様にご意見いただきたいです。事務局の説明にありました通り、非常に広範囲で、学校の位置も非常に複雑だということが可視化されて、これは大変だというところだと思います。</p> <p>私の方で少し視点を絞ってお伺いしていきたいと思います。やはり職業柄どうしても個人的な興味というものが先立ってしまいますが、端的に言えば、なぜこういった配置になったかということです。</p> <p>つまり、昨年の会議にもあったと思いますが、この本庁管内は、元々は現在の校名と違っていて、第一小学校から第六小学校のような名称だったと伺っております。古くからある学校というものに関しては、やはり色々と思い入れなどもあるかと考えます。そういう学校も今後統合を考える上で対象とするのかどうかです。このことについて、委員の皆様に率直なお考えをいただければと思います。</p> <p>川越市民ではない私からすると、なぜ川越小学校と川越第一小学校が隣り合っているのだというような本当に素朴な疑問を持ってしまいます。これは単純に統合できるような話では無いとは理解しておりますが、そういうところも含めましてご意見頂戴したいと思います。</p> <p>本日、川越第一小学校に勤務されている先生がいらっしゃいますので、遠藤委員からご意見頂戴したいと思います。</p>
遠藤委員	<p>川越第一小学校と川越小学校の距離はとても近いです。</p> <p>ちなみに、川越第一小学校は、川越小学校の学区内にあります。一見すると、不思議な感じはします。</p> <p>両校とも大変古く伝統がある学校であります。また、近いですけども、ここで示されている児童数、学級数からすると、</p>

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>この2つを統合すると、とても大規模になってしまうので、難しいと感じます。</p> <p>将来、子どもの数が減ってきた時に、距離的に近いという理由から統合という話が一番に見えてくるのかもしれません。しかしながら、川越小の児童は、全て初雁中に進学をします。一方で、川越第一小学校は、地図上では少し離れていますが、川越第一中学校に全員が進学します。これを一緒にしてしまうというのは、中学校2つを一緒にしてしまうぐらいの難しさはあるのかなと思います。</p> <p>また、地域の方々においても第一中学校の卒業生である、川越第一小学校の卒業生であるということで紡いできた歴史は大変深く、とても大切にされているので、そういった観点でも難しいと思います。</p>
眞下会長	<p>ありがとうございます。そうすると、他の小学校についても、なかなか他の学校と一緒にしていくというのは、現状では感情的に難しいところもあるということでしょうか。</p>
遠藤委員	<p>そうですね。市民センター管内は、支会が1つで組織されているので、区切りが良いのですけれども、本庁地区は、支会、自治会がとても複雑に混ざりあっています。そのような観点からも、統合していくことは難しいと感じています。</p>
岩澤委員	<p>今、本庁管内には11の支会がありまして、何年か前に、行政が、本庁管内を3つのエリアに分けて、第1から第3まで地域会議を立ち上げようとしたしました。</p> <p>しかしながら、実際に立ち上がったのは第2地区の地域会議だけで、もう5年は同じような状況です。なぜかというと、支会単独で運営できてしまうからです。</p> <p>遠藤委員が仰るように、他の地区は市民センターが中心になっている要素がありますが、本庁管内にはないです。また、公民館はいくつかありますけども、支会とは関わりがなく、他の地区のようにはいかない認識があります。また、この地区の小中学校の卒業生の方たちが、今の自治会の役員をされていますので、統合に関しては、にわかに受け入れられない実情はあると思います。</p> <p>中央小との比較ですと、商店街周辺の方がほとんどかと思</p>

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
藤崎委員	<p>います。川越第一小の方はどうかというと、郊外の農地で農業を営む方も結構いらっしゃいます。そうした中で、子どもの数が減って、中央小と川越第一小が一緒にできるかというと、土壤が違うかと思います。</p> <p>当時、川越小学校は第二小学校であり、川越第一小のすぐ裏です。皆様ご存知だと思いますが、川越第一小というのは川越で一番古い学校です。私たちが子どものころ、掃除の時に雑巾がけをすると、必ず木のささくれが指に刺さるような状況でした。</p> <p>こうした中で、校区の境だけを見ると、川越第一小に来た方が良いのではないかという人もいるとは思いますが、近くに住んでいるとそういった感覚は無いです。それは基本的にその区分けが根付いているからだと思います。</p> <p>また、川越第一小の校区は都市化していない地域もあり、多くは農耕地域で、仙波小もそのような地域です。都市化というと第二小学校の方になりますが、川越第一小の方は、都市化された小学校ではなかったです。川越第一小には遠くから通っている人もいて、自転車で通っている人もいました。そういう時代も経て、今もこの範囲は変わらないですね。</p> <p>仙波小の通学区域の近くに住んでいる川越第一小の児童は、子どもの足で40分から50分かけて通っていました。川越第一中に進学すれば通学距離は近くなるのですが、仙波小の方に通いたいという人もいたと思います。同様に、中央小へ通った方が近いという人もいたと思います。</p> <p>現実には今の通学区域で続いているわけですから、うまく統合するのはなかなか難しいと思います。祭りに関しても、町内ごとに行っているわけですから、こういった観点からも難しい問題はあると思います。</p>
眞下会長	<p>ありがとうございます。本庁地区特有の事情ということですね。確かに祭りのグループと小学校区がバラバラだったら大変な気がします。ご自身の実体験と歴史を交えた、非常に貴重なご意見でした。</p> <p>確かに一見すると、複雑に入り組んでいる状態を単純に整理すればいいじゃないかという風に見えてしまいますが、やはり江戸時代から続く歴史のある町ですので、人口が少なく</p>

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>なったからと言って、にわかに変えるわけにもいかないというのも事実なのだろうと思います。</p> <p>特に祭りや自治会といったものもありますので、これらを無視して新しい枠組みを作るというのはかなり難しいということだと思います。他に何かありますでしょうか。</p>
粕谷委員	<p>先ほどのご説明だと、本庁地区では、小学校が3つ、中学校が1つ減にするという話だったと思います。</p> <p>川越第一小と川越小は無理なのかもしれません、他の地区と同様に考えた場合、例えば、初雁中と川越小の一体化は可能ではないかという観点もあると思います。小学校同士ということであれば、距離は別として今成小と月越小であるとか、本当に人口が減ってきて存続できなくなるとすれば、それは視点としては仕方ないことだと思います。</p> <p>中学校の1校減について具体的な話をするとき、富士見中と野田中については、歴史的に見ると、野田中は富士見中から分かれている経緯があると思います。</p> <p>だからと言って、単純に元に戻せばいいという話にはならないとは思いますが、視点としてはあり得ると思います。</p> <p>ただ、歴史的な背景など地域の皆様に大事にされてきたものがありますので、地域には丁寧に説明していかないと、ご理解が得られないのは当然あると思います。同校種の統合、小中一体化して地域に学校は残る場合であっても、そこは丁寧に説明していく必要があると思います。</p>
眞下会長	ありがとうございます。
藤崎委員	<p>今の話に関連して、中央小は以前、第三小学校という名称でした。また、泉小学校は第五小学校でした。その後、月越小が、第六小学校として新たに創立されました。月越小の通学区域はどこかというと、過去の泉小と中央小の区域で、その区域に住む子どもたちが、第六小学校に行くことになりました。隣に住む子ども同士が新しく小学校ができたことで、別々の学校になったということが実際に起こっています。こうした過去の経緯もあるから、統合というのは難しいことはないのかもしれません。</p> <p>こういった問題は野田中の方にも当てはまります。ここは</p>

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>富士見中学校から分かれて来ている部分があり、また、城南中は前からありました。人口が増えてきたことで、今まで1つだった学校が2つに分かれてしまったわけですが、今度は逆に少なくなってきて統合するという話になると、そういう様々な歴史的な経緯や背景も考えながら進める必要はあると思います。距離が近いから簡単に統合してしまえばいいということは、無理があるかと思います。</p>
眞下会長	<p>ありがとうございます。ひょっとしたら歴史的な背景を考慮した上で説明を尽くせば、統廃合についてはご理解を得られるような地域もあるであろうというご意見でしょうか。</p> <p>そうすると、やはり難しいのは川越第一小と川越小といったような所でしょうか。逆に言えば、そうではない地域においては、やり方次第で可能性があるということだと思います。</p> <p>私自身も25年間川越に勤めている中で、町を歩く機会が多いですが、やはり町の雰囲気というのは、それぞれ違ってくるものです。川越は歴史ある町ですので、歴史というものを全く無視して統廃合を進めるということは、どう考えても難しいということになろうかと思います。</p> <p>他に何かありますでしょうか。</p>
藤崎委員	<p>参考までに、今成小学校には、山田地区の上寺山地区からも通っている子どもがいます。上寺山地区は山田地区と本庁地区との境にあって、今成小学校の方が近いということで、そちらに通っている状況もあります。そういう事例も把握しながら検討を進めた方が良いと思います。</p>
遠藤委員	<p>先ほど、月越小が話題に上がりましたが、そこに勤めた者としてお話をさせていただくと、月越小が第六小学校と呼ばれる期間も含めて、歴史があり、校舎は新しいのですが、やはり伝統があります。中央小から月越小に分かれて、当時月越小は1,000人規模の大規模校でした。そこから、今成小に分離していった経緯があります。</p> <p>こうした中で、月越小が中央小に吸収されるとなると、そこに住まわれている人たちには切ない思いが生じるのではないかと思います。歴史的な背景から、順番的には今成小が</p>

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>月越小に統合されるのが先だという気持ちがあるのではないかと思います。</p> <p>かつて、今の今成小学区の入間川の川沿いにまで行って、学校行事を行ったという話を聞いておりますので、地域の繋がりはあると思います。こういった歴史的な背景や経過を紐解いて説明をしていかないと難しいだろうなということを感じています。</p> <p>加えて、この地区では、大塚小にも課題があると感じています。ここにも勤務したことがあります、大塚小はその南にある武蔵野小が目視できるほど近い距離間にあります。また、本庁管内にありながら、大東地区とも被っており、新宿小との統合という選択だけでなく、武蔵野小という地区を超えた統合ということも考えてもいいのかもしれません。</p> <p>こちらについては、やはり支会が細かく存在しており、それぞれ支会が学校を大事にしてくれる状況にもありますので、本当に児童が少なくなり、適正規模の維持が難しくなった事実があってからでないと、なかなか手を出し始めるのが難しいという印象を持っています。</p> <p>いずれにしても、色々な可能性があるエリアだとは思っています。ただ、歴史を辿ることと、地域住民の思いをどのように繋いでいくのかということは忘れてはいけない観点という印象を持っています。</p>
眞下会長	<p>ありがとうございます。地域住民の方々のお考えも非常に大事であるということですね。それこそ長く受け継がれてきたもので、昔の川越市教育委員会の方々の都合で作られたわけではなく、当時、人が集住していたような地域に合わせて学校を作ってきたはずですので、こういった歴史を忘れてはいけないということになろうかと思います。</p> <p>私のような川越市民でない人間では、整理できないものかと思ってしまいますけれども、そうはいかないというところでしょうね。他に何かご意見等ございますか。</p>
委員一同	(意見なし)
眞下会長	ご意見等ないようですので、続きまして、同校種の統合の可能性についてです。これまで、本庁地区についてご意見い

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>ただいたわけですが、例えば、月越小と〇〇小といったような可能性が他にもあるようでしたら、ご意見をお願いします。現時点では、昔からその場所にある学校間の統合は難しいというご意見だった中で、月越小を中心としたエリアであれば、可能性があるかもしれないというお話だったかと思います。</p> <p>事務局からの説明にあった通り、この地区は小学校3校減、中学校1校減ということですが、減らすのを目的化してはいけないことは前提として、他にどういった所であれば可能性があり得るのかといったところをお伺いしたいです。</p> <p>先ほどのご意見からすると、小学校であれば月越小を中心としたところ、中学校であれば富士見中の周辺といったところが中心でしょうか。あとは大塚小のところでしょうか。</p>
藤崎委員	<p>これまでの審議会での協議は、市民センター管内などの範囲で一つ一つ進めてきているわけですが、川越市全体で見えてみると、本庁地区でも市民センター管内の学校と近い部分が結構あるわけです。</p> <p>そういう意味から言えば、本庁地区の中で、小学校3校減、中学校1校減という考え方もわかりますが、隣接する市民センター管内との連携という視点も持って考えていく必要があるのではないかと思います。</p>
眞下会長	<p>ありがとうございます。本庁地区という枠組みだけにとらわれない視点も併せ持って、同校種の統合の可能性について探っていくということでしょうね。</p> <p>他にご意見が無いようでしたら、次に、小中一体化の可能性についてお伺いしたいと思います。</p> <p>小中一体化の方が望ましいのか、それとも単純に同校種統合の可能性の方がよろしいのかといったお考えでもよろしいのですが、ご意見いかがでしょうか。</p> <p>小中一体化という観点で、地図上で見ると、やはり川越小、初雁中といったあたりが見えてきてしまいますが、それ以外にはなかなか見えて来ないというところでしょうか。</p>
藤崎委員	冒頭に事務局から説明があったとおり、一体化にあたり児

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	童・生徒数に合わせた校舎や校庭の面積を確保するとなると、現状では本庁地区内で対応できる学校は無いのではないかでしょうか。
眞下会長	可能性だけで言うと、富士見中、野田中あたりはあり得るのかもしれません、ここでは小中一体化より同校種統合の方が良いという話になるでしょうね。
遠藤委員	例えば、城南中学校と新宿小学校が小中一体化した場合に、近くにある大塚小学校の子どもは、その一体化した城南・新宿小中学校に進学できるのでしょうか。一体になると、通うことが出来るのは、その小中学校の児童・生徒だけで、他の小学校を卒業した子どもたちは入学できないのでしょうか。
藤崎委員	大塚小が残っていたら、そちらには通えないと思います。
岩澤委員	今は大塚小を卒業した子どもたちが、進学する中学を選べる地域があります。
眞下会長	もちろんこれは仮の話になりますけれども、筋論から言えば、進学できるはずです。ただ、そうなりますと、仮に城南中学校と新宿小学校が小中一体化されたとして、新宿小学校に通っている子どもたちにとっては、通いなれた学校に引き続き進学できて、大塚小学校の子どもたちは、新しい学校に進学して別のコミュニティに入らなければならないというイメージになるかと思います。 それが良いことなのか悪いことなのか、判断がつきかねるところではありますけれども、子どもたちのことを考えるとどうなのかというご意見も出てくるかもしれません。
岩澤委員	自治会に関しても課題が出てくると思います。自分が住んでいる場所はこっちの自治会だけれども、近所の友達は違う自治会のエリアになって、自治会行事に関しては一緒に参加できないといったことが起こり得ると思います。
眞下会長	川越市内の自治会組織率はだいぶ下がってきたとはいえ、

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	まだまだ強い部類に入りますので、おそらくこれを全く無視して進めることはできないということだと思います。
粕谷委員	数字だけ見ると、12年後の初雁中は適正規模の範囲から外れるわけです。野田中は同校種で統合すると仮定しての話です。具体的な推計は覚えていないのですが、初雁中の生徒数がこれからどんどん減り続けていった時に、初雁中をどうするのかと考えた時、川越小との小中一体化はあり得ると思います。
眞下会長	初雁中と川越小の小中一体化については、可能性としてゼロではないかもしないというご意見です。
粕谷委員	他の小中一体化の可能性というのはもっと難しいと思っています。1小1中の関係性があまりない地区ですので、可能性があるとすれば、そこしかないかなと思います。
岩澤委員	私の聞いている範囲ですけれども、中央小の子どもたちは、今は川越第一中と富士見中に進学しますけど、私立に進学する子どもが結構多くなっています。今後、差別化という観点からすると、私立中学校への進学をもっと選ばれてしまうと、子どもの数はさらに減ってしまうと思います。他の小学校でも中学受験する子たちが増えてきてしまうと、影響が大きくなってくると思います。
眞下会長	ありがとうございます。大体議論は出尽くした感じでしょうか。他にご意見等ございませんでしたら、こちらの議論はこれで締めさせていただきたいと思います。
委員一同	(意見なし)
眞下会長	これにて予定していた議事が全て終了いたしました。昨年度からいただきましたご意見等を参考にいたしまして、事務局と相談して答申案を作成していくことになります。 次回はその答申案について皆様からご意見をいただきたいと考えております。 その他に、全体を通してこの適正規模、適正配置を考えて

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
市村委員	<p>いく上で配慮すべきことなどに対してご意見がございましたら、この場でお願いいたします。いかがでしょうか。</p> <p>市民センター管内では、隣の市町村と接している場所もあると思います。そのような中で、子どもの数が減っていく状況で、地続きの境なので隣の市町村においてもおそらく同じ状況であり、隣同士の市町村で話し合うことも必要ではないかと考えます。</p> <p>川越市に住んでいても、隣の市の小中学校の方が近い子どももいるでしょうし、その逆もあり得るわけで、市町村の境界周辺の地区の小中学校を減らしたい、どちらかを残したいと検討する際には、やはり隣の市町村と一緒に検討していくという考え方も必要なのではないかと思います。</p>
眞下会長	<p>ありがとうございます。自治体間の連携、昔で言うところの越境通学に近いようなものだとは思います。確かに前回だったと思いますけれども、坂戸市との境で、近所に住んでいる子どもたちが坂戸市の小学校に通っているという事例があるという情報もあったかと思います。こういった視点も含めて考えていくべきではないかということかと思います。</p> <p>他にはいかがでしょうか。</p>
藤崎委員	<p>先ほど話題に上がりましたが、私立の学校に関することです。資料の地図の中には出ていませんけれども、市内には私立の小中学校もあるわけですよね。</p> <p>現状、私立との関係というのはあまりないとは思いますが、実際に近くにあるわけで、山田地区でも実際に私立の中学校に進学する方もいる状況です。そういう現状も結構出てきているので、私立との関係性というのも検討材料として考えて良いのではないかと思います。</p>
眞下会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私立の学校との関係ということです。東京23区内ですと、場合によっては3分の2ぐらいの子どもが中学受験するようになってきているようです。そのような状況下では、人口自体は増えているのに公立の中学校を統廃合するという不思議な状況も起こってきているというのが23区の現実であ</p>

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>ります。では、なぜ私立を受験するのかという話ですが、これはもちろん学校の先生方のほうがお詳しいと思いますけれども、根本的には大学受験が厳しいから、出来るだけ苦労せずに進学できる選択をしたいというのが非常に大きいと聞いております。例えば、大学付属の中学校に入学できれば、ほぼストレートでM A R C H以上の大学に進むことができるということになると、子どもの負担感も親の負担感も少ないわけで、そちらを選ぶという話になるわけですね。</p> <p>川越に関しては、元々非常に教育熱心な土地柄であるという風には聞いておりますけれども、今のところ、大学受験に向けて、中学受験をするという意識はそこまで強くないとは思っております。</p> <p>ただ、可能性としてゼロではないというレベルの話ではありますけれども、川越市においても、そのような方向に考え方方が変化していった場合には、意外と私立の問題は大きいものになるのかなとは思います。</p> <p>例えば、慶應義塾大学が藤沢の方に大きなキャンパスを作ったり、横浜市北部に中学校のキャンパスを作るといった話が出てきた時に、周辺に住む人の考え方方が結構大きく変わったというところがあったと思います。また、埼玉県ですと、早稲田本庄高等学院がありますけれども、例えば、そういう類の私立の学校が川越に出来ましたということになった時には、川越市民の考え方方が大きく変わってくるのではないかと思います。</p> <p>もちろんこれは、未来の、もしかしたら起こるかもしれないというレベルの話ではありますけれども、今後、公立学校のライバルは増えるかもしれないということです。そういう環境の中で、公立の小中学校をどういう風に運営していくのかという点においては、地域住民の皆さんもそうですが、行政の役割はやはり大きいものがあるということを一言申し伝えておきたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。他にはよろしいでしょうか。</p>
委員一同	(意見なし)
眞下会長	それでは、以上を持ちまして本日の審議を終了いたします。ご協力ありがとうございました。

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
眞下会長	<p>3 その他</p> <p>続きまして、「3その他」に移らせていただきます。</p> <p>まず、皆様から何かありますでしょうか。</p>
委員一同	(意見なし)
眞下会長	無いようですので、事務局からお願ひします。
事務局	<p>事務連絡を申し上げます。次の第3回審議会につきましては、11月26日を予定しております。</p> <p>本日、改めて開催通知を送付させていただきます。</p> <p>事務連絡は以上です。</p>
眞下会長	<p>4 閉会</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、以上を持ちまして川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会が第2回会議を閉会いたします。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p>
	以上

別紙

No.	選出区分	選出団体	氏名	フリガナ	出欠
1	学識経験者	東洋大学	小瀬 博之	コセ ヒロヨキ	欠
2		尚美学園大学	眞下 英二	マシタ エイジ	出
3		東京国際大学	山崎 真之	ヤマザキ マサヨキ	出
4	公共的団体の代表者	川越市自治会連合会	宮岡 寛	ミヤカガ ヒロシ	欠
5		川越市自治会連合会	岩澤 嗣夫	イワザワ ツキオ	出
6		川越市民生委員 児童委員協議会連合会	藤崎 昇	フジザキ ノボル	出
7		川越市民生委員 児童委員協議会連合会	市村 博子	イシムラ ヒロコ	出
8	学校教育 関係団体の代表者	川越市PTA連合会 (中学校)	岡田 研児	オカダ ケンジ	出
9		川越市PTA連合会 (小学校)	國分 洋祐	コクブ ヨウスケ	欠
10		川越市子ども会育成団体 連絡協議会	武藤 寛史	ムトウ ヒロシ	出
11		川越私立幼稚園・ 認定こども園協会	榎本 圓	エノモト マトカ	出
12		川越私立保育園協会	牧野 元洋	マキノ モトヒロ	出
13		川越市中学校長会	粕谷 英之	カスヤ ヒテヨキ	出
14		川越市小学校長会	遠藤 千絵	エンドウ チエ	出